

令和7年11月27日(木)



1週間前のイチョウは、まだ緑の葉が優勢でしたが、この数日の冷え込みで一気に黄葉しました。木の根元には、すでに落葉も見られます。イチョウは、植物の中でも黄葉する時期が遅い方ですが、冬の入り口になって見られる鮮やかな黄色は見事なものです。街中でもイチョウ並木が染まりだすと、ちょっとした観光スポットのようになります。広葉樹の葉は、落葉すると微生物が分解して、土にかえります。つまり、落葉広葉樹は、自らの葉を落として自分自身の肥料にしているわけです。ただ、イチョウは、肥料になりにくいと言われています。葉にケイ素が多く含まれているためです。ケイ素は岩石などに含まれる成分で硬いため、微生物には好まれないようです。人の手で肥料化することもできないわけではないですが、簡単ではないようです。本校でも、イチョウの葉は燃えるごみとして処分しています。



1年生は、学年閉鎖が明けて、今日から二日間定期試験です。ノートや参考書を片手に登校してくる生徒もいました。一方、2・3年生は、昨日で定期試験が終わったので、どことなく生徒の表情が晴れやかです。試験の結果は、まだ返却されていないので、つかの間の開放感に浸っているのかもしれません。

3年生の体育は、全クラス合同授業でした。体育館でドッジボールを楽しみました。定期試験が終わり、この先は進路選択や受験勉強で根をつめる日々になります。その前に、少しでも気持ちを楽にして交友を温め、そして明日からの鋭気を養う意味で、体育科の先生方の粋な計らいだったようです。生徒たちもリフレッシュできたのではないのでしょうか。



未成年のスマートフォン（以下スマホ）の所持率は年々上がっています。スマホは、今やインフラの一つとあっていいほど人々の生活に浸透し、その利便性を享受しています。一方で、使用時間の長さによる健康被害や人間関係トラブルのもとにもなっている状況です。本校においても、スマホの長時間使用による様々な弊害が認められており、教師や保護者に指摘されるまでもなく、生徒自身が問題点として実感しているところです。本年度、生徒会本部から「スマホの

扱い方」について改めて問題提起され、各クラスで話し合い、生徒総会で発表を行いました。また、学校運営協議会に生徒が参加し、学校運営協議会委員及び教職員と意見交換を行ったり、他校との交流で自校の取り組みを紹介したりしました。先日、生徒会本部がまとめた提言が各クラスにおろされたところです。提言ですので罰則はありませんが、生徒たちが自分たちのために知恵を寄せ合いつくりあげた提言ですので、一人一人がスマホとの付き合い方を見直すきっかけとなるよう期待しています。

